

別紙:SQL差異表

SQL機能	標準SQL	説明	PostgreSQL 9.2.1		Oracle 11g R2		SQL Server 2008 R2	
			対応	備考	対応	備考	対応	備考
SELECT								
WITH句	○	WITH 問い合わせ (共通テーブル式)	○	WITH 句の中で更新系コマンドが使用可能	○		○	列の別名に独自の構文あり
DISTINCT	○	重複している行を取り除く	○	DISTINCT ON は PostgreSQL 固有	○		○	
UNIQUE	×	重複している行を取り除く	×		○	Oracle 固有	×	
TOP句	×	取得する行数の指定	×		×		○	SQL Server 固有
FROM句	○	テーブルの指定	○	FROM 句を省略可能	○	FROM 句は省略不可 サブクエリの別名を省略可	○	FROM 句を省略可能
CONNECT BY / START WITH 句	×	階層問い合わせ	×		○	Oracle 固有	×	
JOIN 句	○	テーブルの結合	○		○	独自の結合演算子(+)あり	○	
WINDOW句	○	OVER 句で参照するウィンドウ	○		×		×	
LIMIT 句	×	取得する行数などの指定	○		×		×	
FETCH 句	○	取得する行数などの指定	○		×		×	
SELECT FOR UPDATE	○	更新ロックを取得する (標準 SQL ではカーソルのオプションとしてのみ有効)	○	任意の SELECT で使用可能	○	サブクエリでは使用不可	○	カーソルでのみ使用可能
SELECT FOR SHARE	×	共有ロックを取得する	○	PostgreSQL固有	×		×	
更新系								
INSERT	○	行の挿入	○	RETURNING句を使用可能 WITH句と共に使用可	○		○	TOP句を使用可能 OUTPUT句を使用可能 WITH句と共に使用可 “INTO”を省略可能
UPDATE	○	行の更新	○	FROM句を使用可能 RETURNING句を使用可能 WITH句と共に使用可能	○		○	TOP句を使用可能 OUTPUT句が使用可能 FROM 句を使用可能 WITH句と共に使用可能
MERGE	○	既存の行を更新、新規の行は挿入	×		○		○	TOP句を使用可能 OUTPUT句を使用可能 WITH句と共に使用可能
DELETE	○	行を削除	○	USING句を使用可能 RETURNING句を使用可能 WITH句と共に使用可	○	“FROM” を省略可能	○	TOP句を使用可能 OUTPUT句を使用可能 WITH句と共に使用可能 “FROM” を省略可能
TRUNCATE TABLE	○	テーブルの全ての行を削除	○	“TABLE” を省略可能	○		○	
トランザクション関係								
BEGIN	×	トランザクションの開始	○	START TRANSACTION と等価。 PostgreSQL固有	×		○	BEGIN TRAN 構文あり
END	×	トランザクションの終了	○	COMMITと等価。 PostgreSQL固有	×		×	

別紙:SQL差異表

START TRANSACTION	○	トランザクションの開始	○	×	任意のSQL実行によりトランザクションが開始される。	×	
COMMIT	○	トランザクションをコミット	○	○		○	COMMIT TRAN 構文あり
ABORT	×	トランザクションのアボート	○	×	ROLLBACK と等価。 PostgreSQL固有	×	
ROLLBACK	○	トランザクションの破棄	○	○		○	セーブポイントへ戻るときにも用いる。 ROLLBACK TRAN 構文あり
ROLLBACK TO SAVEPOINT	○	セーブポイントへの復帰	○	○		×	
SAVEPOINT	○	セーブポイントの設定	○	○		×	
RELEASE SAVEPOINT	○	セーブポイントの破棄	○	×		×	
SAVE TRANSACTION	×	セーブポイントの設定	×	×		○	SQL Server固有
LOCK TABLE	×	テーブルのロック	○	○		×	